

## 廃熱利用で巨大 発電の仕組み予測

金大数物科学系の石井史之准教授(計算科学)は、廃熱を利用して巨大な発電効果を得られる新たな仕組みを予測した。

磁石などから電子を半分抜き取った上で一部を温めた場合、電子が特定の方向にそろって動き、大きな電圧が生まれることがシミュレーションで明らかになった。新たな発電システムの開発につながると期待される。

研究をまとめた論文が、英国ネイチャー出版グループの電子版に掲載された。